

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・社員証の裏に経営理念の記載をする等、会社のあるべき姿を従業員に共有している。 ・月に1回、職員全員で情報一致集会を行っている。 ・入職者への理念研修を行っている。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・入職時に入職者全員に冊子を配布し、研修を実施している。 ・個人情報保護などの法令遵守に関する規定を設けており、企業HPで発信している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している。 ・不正競争行為の禁止を含む行動チェックする体制を電子申請上で構築し実施している。 ・仕入先等に対し、不当な価格での購入がないかチェックしている。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・当院が提供する医療体制や地域活動に対する、患者さま・ご家族・地域住民からの声について「患者さま満足室」という専門部署にて対応している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・新入職研修や研究発表時に、著作権侵害等についての研修や指導を実施している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「個人情報保護委員会」を設置し、毎月の定例会や、職員の個人情報に対する意識の向上を呼びかけている。 ・外来玄関に、患者さまの個人情報の取り扱いに関するパネルを設置している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・「患者さま満足室」という専門部署の設置、各フロアには「ご意見・ご要望BOX(理事長直通便)」を設け、顧客の声を大事にし、双方向コミュニケーションに取り組んでいる。 ・入院患者さまの些細な変化でもご家族に連絡するようにしている。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・取引先の活動に関心を持ち、対話を積極的に行っている。 ・CO2排出量の削減をはじめとした地球環境や人権侵害等への配慮など、問題意識の共有を行っている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・「災害対策委員会」を設置し、BCPを策定し、定期的な防災訓練を行っている。 ・BCP策定チームを設置し、情報共有を頻繁に行っている。									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●										8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスメント行為を防ぐために就業規則へ定めている。 ・LINEハラスメント相談窓口(男性、女性1名ずつ)を設置している。 ・入職時および定期的な全体研修を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・衛生的な環境が保てるよう毎日朝礼で呼びかけを行っている。 ・腰痛予防に力を入れ、労働安全衛生法で定められた職場巡視とは別に安全衛生委員会メンバーである理学療法士を中心としたチームで作業手順の見直しなどのラウンドを行っている。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の公正な待遇を行っている。 ・職位や給与形態に応じて同一労働同一賃金に応じた説明ができるよう準備できている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・長時間労働を防止するために、出退勤時刻の報告を定期的に行っている。 ・特に残業時間は36協定届に定めている月間45時間を超えないよう、各部門ごとで勤怠の確認を随時行っている。 ・残業を抑制するために、食事介助など他部署からの応援体制も整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得支援を行っている。 ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための研修を実施している。 ・外部の専門人材を採用し、研修や勉強会を積極的に実施している。 ・年に1回院内学会を開催している。					4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・ストレスチェック後の高ストレス該当者に対し、希望者に保健師面談を実施している。 ・メンタルヘルス対策として、メンタルヘルス講話、チームビルディング等を実践している。 ・部門長を通した受診勧奨を実施している。 ・喫煙率を下げるために、健康診断で喫煙の有無を確認し、喫煙歴のある職員に対しては禁煙を勧めており、禁煙外来の受診勧奨を実施している。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・障がい者の雇用を行っている。 ・外国人雇用を積極的に行っている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・ウェブ会議を推進している。 ・一部部署で時差出勤を導入している。 ・会議室の窓開けなどを徹底している。 ・説明会、面会、面接等をオンラインで実施している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・電子カルテを導入し、「電子カルテ運営委員会」が業務効率化を行っている。 ・説明会、面会、面接等をオンラインで実施している。								8	9.1		11	12						
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・熊本県ブライト企業に認定されている。			3	4				8	9			12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物に関しては、産業廃棄物と感染性廃棄物に分別し、適切な管理および処理に取り組んでいる。 ・有害化学物質を把握し、なるべく廃棄の出ないよう、適切な管理および処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力会社からの請求書をもとに、電気使用量を把握し、使用量の適切化をはかっている。 ・デマンドコントローラーを導入し、急激な電気使用を抑制している。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・消費電力を抑えるため、蛍光灯からLEDへ変更している。 ・センサーライトを設置するなど、こまめに照明を消すようにしている。 ・エアコンは朝・夕は使用しないなどし、使用しすぎないようにしている。 ・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、社用車の一部で電気自動車、ハイブリッド車を使用するなどCO2排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・敷地内の散歩コースや庭に多様な植物を植えている。 ・常緑種だけでなく、落葉する木、果物をつける木など、より自然に近い環境を形成することで、様々な生物の生活空間を創造することにも貢献している。						6.6							14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・紙ごみはすべてリサイクルしている。 ・リサイクルトナーを使用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所内設備70か所に節水器具を使用している。 ・地下水の合理的な使用及び作物の購入や植林を方策とした水源涵養に取り組んでいる。 ・熊本市への地下水採取量の報告を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入ネットワーク(GPN)が運営する「エコ商品ねっと」に掲載されている製品を積極的に選定し購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・メニューの適正量を日々確認し、食材量の見直しを行っている。 ・残食量を毎日計量し、栄養量等を考慮しながら残食の多いメニューなどの見直しを行っている。 ・規格外などの食材を有効活用している。 ・社員への意識付けとして社内報で発信している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・花の整備専門スタッフを配置し、オフィス内外の植栽に取り組んでいる。 ・事業所周辺の草刈りを定期的に行っている。 ・阿蘇の野焼きに参加している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・年間50万kWhの太陽光発電(再生可能エネルギー)を供給している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリス | 事業者名: 医療法人桜十字 桜十字病院

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・「医療安全委員会」を設置し、リスクアセスメントの洗い出しと対策、医療安全ラウンドでの確認を行っている。 ・医療安全に関するマニュアルを作成している。 ・患者さまの声が届く部署「患者さま満足室」と連携して、医療安全に関する声は情報共有し、検討を行っている。 ・インシデントレポート報告システムがあり、定期的に情報共有や検討を実施している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・スロープ、点字ブロックを設置するなど、ユニバーサルデザインを考慮している。 ・要望がある際は、その都度環境の見直しや改善を行っている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・熊本県産のお米を使用し、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・新卒研修で地域の公民館の清掃とゴミ拾いを行っている。 ・地域住民の方々を対象とする健康講座「生き活き健康教室」を定期的に開催している。 ・地域活性化のため、積極的に熊本のプロスポーツチームへ援助を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・「災害対策委員会」を設置し、定期的な避難訓練やエレベーター設備の点検などの事前防災対策を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生や大学生のインターンシップを、積極的に受け入れている。 ・教育実習の受け入れを行っている。(2023年度は43名)				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17